

兵庫県水道・工水事業アセットマネジメント推進計画

～水道・工水施設の効率的かつ効果的な管理運営により、持続可能な水道・工水事業を実現～

アセットマネジメントの構成

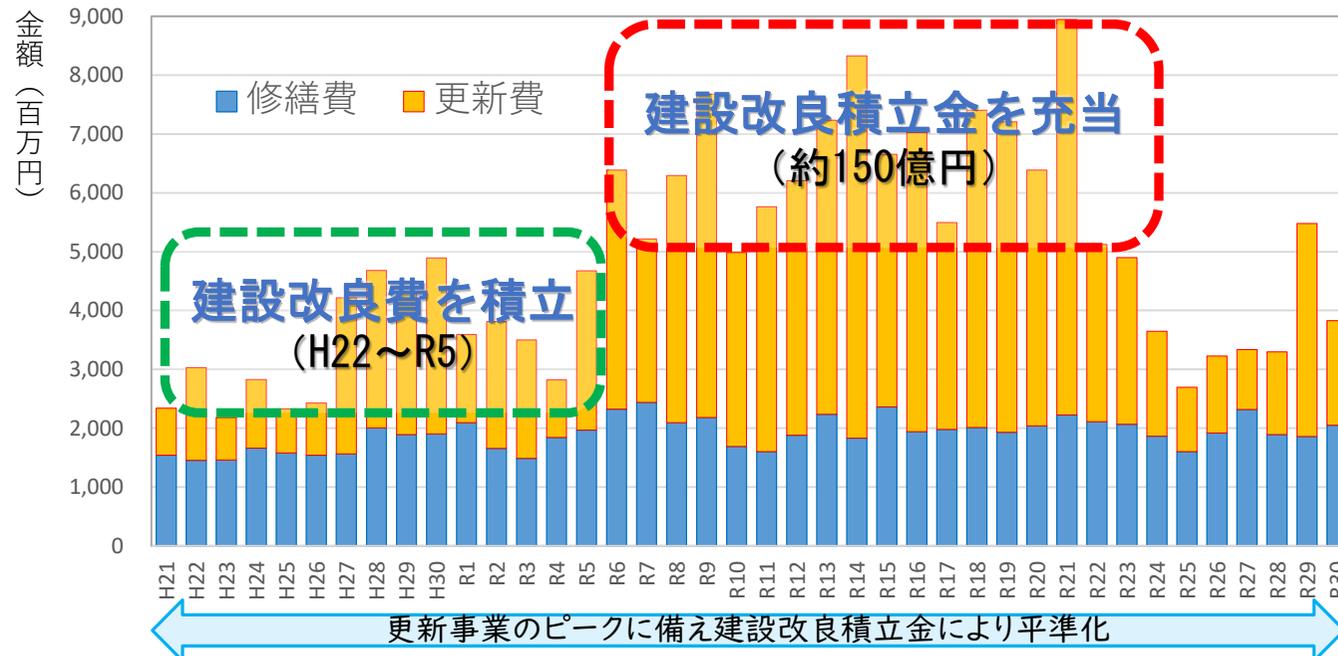
- | | | |
|------------------------|---|-------------------------|
| ① 現有施設の状態・健全度を適切に診断・評価 | ▶ | 「上・工水道維持管理要領」の策定 |
| ② 中長期の更新需要見通しを検討 | ▶ | 40年間(H21～R30)の更新・修繕費を算定 |
| ③ 財政収支見通しを踏まえた更新財源の確保 | ▶ | PDCAサイクルによる継続的な見直し |

計画期間	平成21年度～令和30年度（40年間）	
計画内容	① 施設を「管路施設」「電気設備」「機械設備」「土木施設」「建築施設」の5つに区分 ② 施設の劣化度の評価、重要度や既往の知見等に基づく使用目標年数の設定 ③ 事業収支を考慮した更新時期の平準化 ④ 計画の継続的な推進とフォローアップ	
対象施設	管路施設	延長：水道約260km・工水約150km 口径：φ75～φ2,000mm
	電気・機械設備	受変電設備、監視制御設備、ポンプ設備、薬品注入設備等
	土木・建築施設	沈砂池、浄水池、管理本館等
対象施設の使用目標年数	管路施設	ダクタイト管 60年～100年、 鋼管 70年
	電気・機械設備	電気設備 9年～43年、 機械設備 15年～40年
	土木・建築施設	土木施設 70～100年、 建築施設 60～80年

兵庫県水道・工水事業アセットマネジメント推進計画

～水道・工水施設の効率的かつ効果的な管理運営により、持続可能な水道・工水事業を実現～

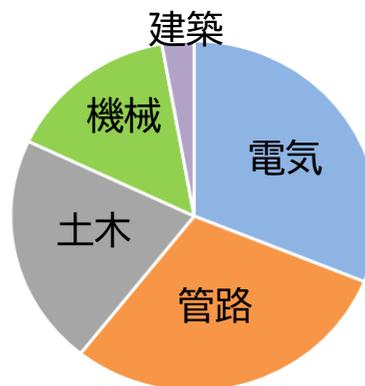
【水道事業】年次別事業計画



資金面の平準化

40年間の総額
約2,000億円

区別費用内訳



更新費とは

新しい施設の設置等により施設の機能を高め、耐久性を増すための費用



老朽化した監視制御システムの入れ替え

修繕費とは

施設の機能を維持するために整備・原状回復するための費用

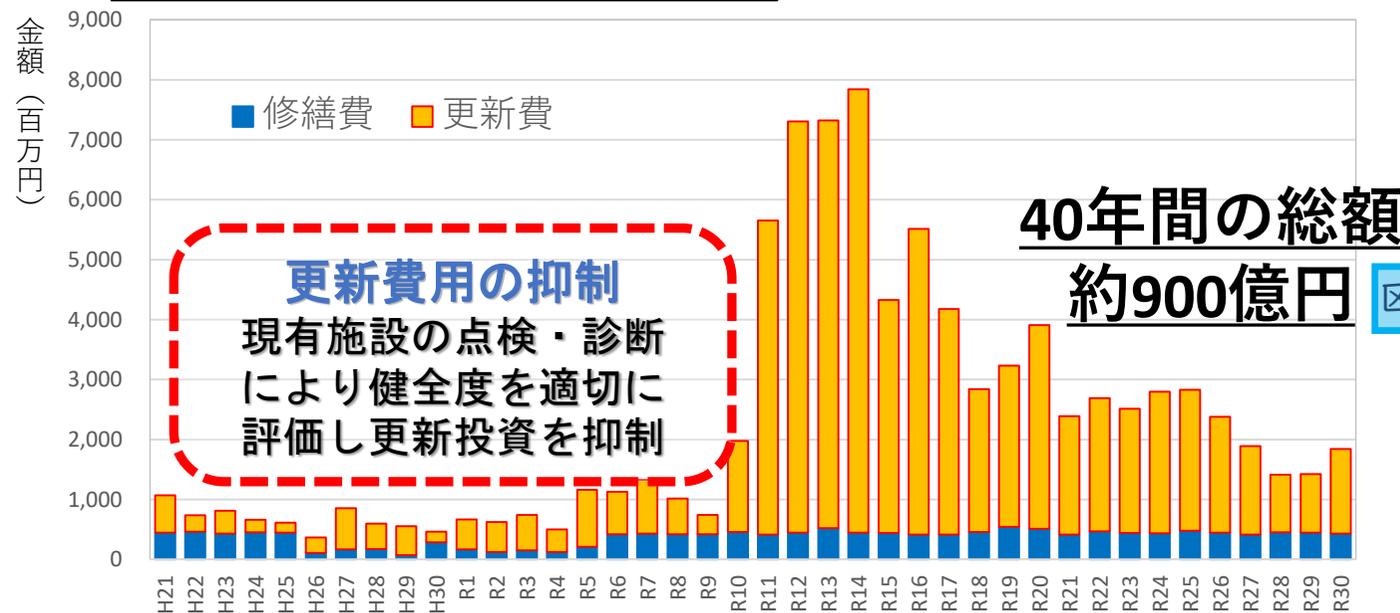


老朽施設の整備による延命化

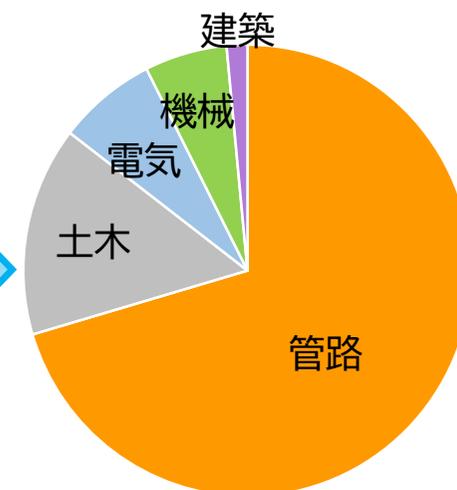
兵庫県水道・工水事業アセットマネジメント推進計画

～水道・工水施設の効率的かつ効果的な管理運営により、持続可能な水道・工水事業を実現～

【工水事業】年次別事業計画



区分別費用内訳



現行アセット計画の課題

- ✓ 管路費用が全体の約7割を占有
- ✓ 大規模な管路更新を前提に、支出ピーク集中・増大
- ✓ 大規模更新工事着手までにアセットマネジメント推進計画の総合的な見直しにより経営の健全性を維持

アセット計画見直しの方向性

- 更新時期の適正化
- 新技術・新工法の採用
- ダウンサイジング など